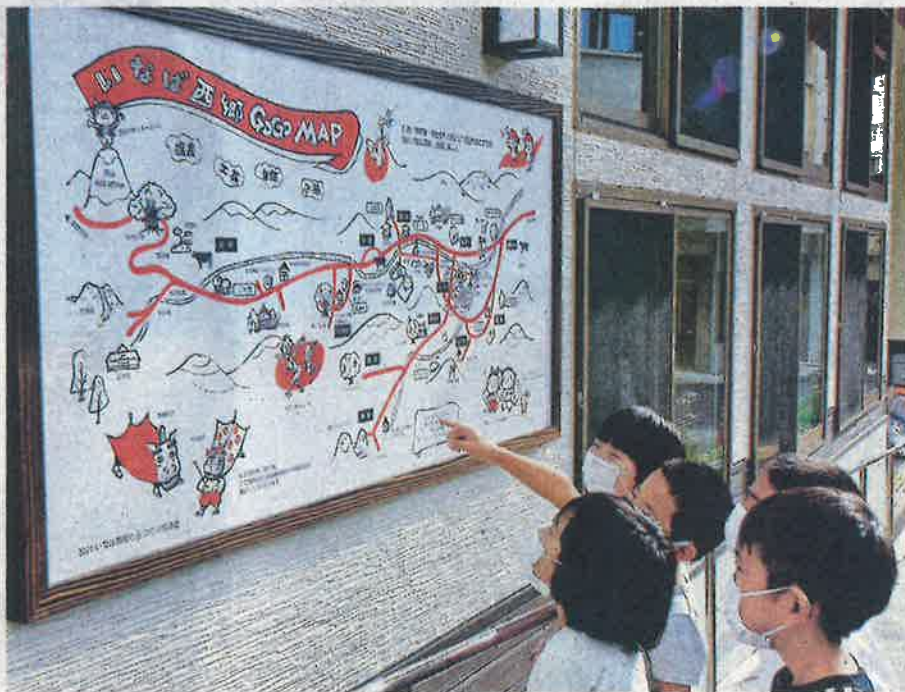


地区自慢のお宝一目で

河原・西郷に案内板お目見え

自然や文化など西郷地区の魅力を紹介する案内板



工芸や隠れた名所

イラスト交え紹介

鳥取市河原町西郷地区の「の活動もしており」紙面魅力を紹介する案内板「い」のように読み込めないのになら西郷GOGOMAP文字数を減らし、一目で分かるよう主要なものだけに「(ゴーゴーマップ)」が、絞った」といふ。

お目見えた。同地区のむらづくり協議会が2018年に制作した地図の改訂版。工芸や特産物、隠れた名所など豊かな自然の中で育まれた地区自慢の「お宝」がイラストを交えて描かれる。また「西郷のまち」や「用できそうだ。」

3年前の地図はA3判で、同地区全世帯に配布。コロナ禍でむらづくり活動ができない中「地域の魅力を誰の目にも触れられる形に残そう」と、道路に面した公民館の外壁に設置することにした。

案内板は縦90センチ、横180センチ。3年前と同じく、近くで古民家カフェを営む今家美恵子さんがデザインを担当した。イラストレータ

全12集落の名前を地図に落とし込み、鳥取民芸の源流となる牛ノ戸焼、全国で人気の因州・中井窯、人間国宝の前田昭博さんのやなせ窯など、同地区に点在する工芸作家の工房を網羅。また「西郷のまち」や「用」と呼ばれる神馬の隠し田をはじめ、県天然記念物に指定されている弓河内の大シダレザクラ、集落ごとに獅子頭の顔が異なる麒麟獅子舞など、守り伝えたい自然や文化の「遺産」も記した。制作に関わった同協議会の坂本浄さんは「西郷自慢の看板ができた。足を運んで地域の魅力に触れてもらい、ふるさとの良さを再確認するきっかけになれば」と話している。(野木純)